

タブレットを使用した“非接触”の対話機能の導入により、感染症対策で面会が制限される
入院患者と家族、医療従事者間のコミュニケーション改善効果を検証

国立大学法人 東京医科歯科大学と 「遠隔対応ソリューション」を活用した実証実験を開始



実証実験イメージ

シャープは、国立大学法人 東京医科歯科大学（所在地：東京都文京区、学長：田中 雄二郎）と連携し、当社の「遠隔対応ソリューション」を活用した入院患者と家族、医療従事者間のコミュニケーション改善効果を検証する実証実験を、本年5月19日より開始します。

昨今、病院では感染症対策の一環で入院患者との面会が制限されており、家族とのコミュニケーション機会が減少。双方の心理的な負担が増えています。また、医療従事者と家族の面談時に患者自身の同席が困難なことから、説明に必要な対応時間が長びく傾向にあるなど、医療従事者の負担も増大しています。

「遠隔対応ソリューション」は、スマートフォンやタブレットにより、病室とナースステーションなどのスタッフルームをつなぎ、“非接触”でのコミュニケーションを支援するソリューションとして、医療機関や福祉施設向けに、2020年7月に発売しました。今回の実証実験は、本ソリューションを活用し、東京医科歯科大学医学部附属病院において、集中治療室（ICU）に入院する5名の患者の家族の協力を得て実施します。病室および患者の家族の自宅にタブレットを設置。ビデオ通話機能による患者と家族の“面会”に加え、医療従事者と家族とのコミュニケーションの向上を図ります。実証実験は約6週間を予定しており、期間中および終了後に家族の満足度や医療従事者の負担軽減の度合いなどをアンケート調査するほか、医療従事者の対応時間や回数などを確認。本ソリューション導入によるコミュニケーションの改善効果に加え、コミュニケーション深化への効果も検証します。

当社は、実証実験で得られた知見を活かし、新たな非接触ソリューションの開発や用途拡大に取り組み、社会課題の解決に貢献してまいります。

■ 実証実験の概要

| 実施期間 | 実施場所 | 使用サービス | 使用機器 |
|-------------------------|----------------------------------|-------------|--------------------|
| 2021年5月19日から 6月30日まで | 東京医科歯科大学医学部附属病院 ICU病棟（東京都文京区） | 遠隔対応ソリューション | 当社製タブレット 計10セット |

本ソリューションに関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。
http://k-tai.sharp.co.jp/business/remote_response_solution/

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/>

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

【 お客様お問い合わせ先 】 お客様ご相談窓口 biz-tablet@sharp.co.jp